

サステナブル・ビジネス・ボード

「サステナブル・ビジネス・ボード」によるガバナンス

戦略を着実に実行するためには、強力なガバナンス体制と経営陣のエンゲージメントが不可欠です。電通グループの取締役であり、電通インターナショナル社のグローバルCEOでもあるウェンディ・クラークが議長を務める「サステナブル・ビジネス・ボード」は、年間4回の会議を開催しています。2030年度目標の達成に向けた実行計画の進捗をモニタリングし、

主要なリスクや機会を判断。当社グループが行う意思決定のあらゆる側面に社会的・環境的配慮がなされていることを確認しています。

また、未利用のリポリングクレジット5億ポンド分を、スコープ1と2および航空機によるCO₂排出量の削減を含むESG活動の実績に紐づけることで、当該活動を強化しています。事業活動におけるジェンダー平等の実現にも具体的な目標を設定しました。2022年からはESGに関連する指標を

経営陣の報酬体系に組み込むことでガバナンスも強化しています。このように、電通グループ全体におけるESG活動の可視化と経営陣のコミットメントを実現しています。発足1年目である2021年を通して、当社グループにとってのサステナビリティ、つまりジェンダー平等に対する投資、インクルーシブな社会の実現、ネットゼロ経済への移行の必要性などについて、グループ全体で共通した認識を形成できました。



(株)電通グループ
取締役執行役員
電通インターナショナル社
グローバルCEO
ウェンディ・クラーク



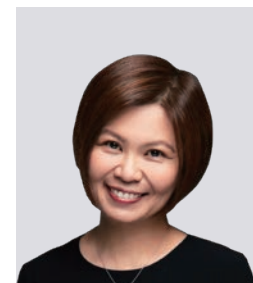
(株)電通グループ
取締役執行役員
電通ジャパンネットワーク
社長執行役員CEO
(株)電通
代表取締役社長執行役員
博谷 典洋



電通インターナショナル社
チーフ・サステナビリティ・
オフィサー
アナ・ラングレイ



(株)電通グループ
代表取締役社長執行役員
CEO
五十嵐 博



(株)電通グループ
執行役員
ジーン・リン



(株)電通グループ
副社長執行役員 CCAO
平手 晴彦



(株)電通グループ
フェロー
コレクティブ・インパクト
推進担当
電通総研副所長
大日方 邦子